

## 北方領土問題現地青年の集い報告

6月13日（土）、本年度初めて根室管内のほか道東圏5支部（釧路、厚岸、浜中、オホーツク、十勝）にまで対象地域を拡げ、北方領土問題への認識を深めるため、現地青年の集いが釧路市生涯学習センターで開催いたしました。

研修会では、はじめに「後継者の声」として各支部代表者10名から、各支部の活動紹介や今後の抱負などを中心に活動を通して、それぞれ抱えている悩みなどをスピーチしていただきました。

根室支部代表の後継者からは、本年度の青年部総会で“青年部”という名称から“後継者「かけはしの会」”に改称したエピソードなどが紹介されました。

その後、北海道新聞社根室支局の丸山格史記者から「根室から見た北方領土」と題して講演をいただき、北方領土問題が住民生活に直結する根室管内は、常に日口間の領土交渉の狭間で揺れ動いており、「さけ・ます流し網漁」の全面禁止やロシア政府高官の度重なる北方領土訪問など、領土問題の解決が一層難しくなっている現状だからこそ、現地からの切実な思いを込めた返還要求運動の必要性と後継者が運動を受け継いでいく重要性を強く訴えていました。



支部代表者による「後継者の声」



熱心に聞き入る参加者



丸山記者による基調講演「根室から見た北方領土」

